市立札幌藻岩高等学校　第46期2学年　コミュニケーション英語Ⅱ　授業構想

目標

１年間の到達目標

(1)中学校・高校１年時までの既習言語材料を踏まえ、英語の4技能を統合的に活用する能力を身につける。

(2)英語でのInteractionをする中で題材について深く考え、学んできた英語を使って自分の意見を表現しながら、積極的に英語でコミュニケーションを図る姿勢を身につける。

(3)様々なテクストや書き手・話し手の考えを理解する中で読解力を高め、よりchallengingな英語の題材にも自ら取り組む姿勢を身につける。

教材

教科書(継続使用)

〇Revised LANDMARK English Communication I(啓林館)

副教材(継続使用)

〇クラウンチャンクで英単語Standard(三省堂)

教科書(新規購入)

〇Revised LANDMARK English Communication II (啓林館)

副教材(新規購入)

〇Step by Step 4 Skills CEFR A2レベル(三省堂)

〇Viewpoint Standard英文読解の着眼点15(数研出版)

〇SKYWARD LAND Course最新入試英語長文20選(桐原書店)

その他使用教材

〇GTEC 4技能アセスメント版 Advanced (ベネッセ)

〇スタディサプリ(リクルート)

〇スタディサプリEnglish(リクルート)

〇自作ハンドアウト

指導

帯活動

①チャンクで英単語Standard

〇毎週最初のC英語Ⅱで小テストを実施し、点数を評価に加味する。

〇不合格者は追試を受ける。追試でも不合格の場合は、課題提出をする。

②Step by Step 2 (CEFR A2)

〇C英Ⅱの授業で使用し、4技能検定試験に慣れるトレーニングを行う。

〇Vocabulary / Readingセクションは予習することとし、Listening / Speakingを授業内で実施する。

Input

Vocabulary Building

〇英和辞書で意味確認(品詞、語義、用例、格変化の確認)

〇単語発音練習(母音、子音の発音への注意喚起、練習とダメ出し)

〇Vocabulary List(新出語句のリストを使った意味確認)

〇Picture Language(日本語を介さない、絵や写真による意味理解)

〇Word Hunt(日本語に当てはまる英語句を本文中から探す)

Comprehension of Text

〇Oral introduction(図表・写真やキーワード、生徒のschema activationのための teacher's talk+interactionによる概要把握)

〇Visual Aids(図表、写真の提示による理解促進)

〇Q&A(教科書・指導書のQ、教員の自作Qによる内容理解確認)

〇T/F(教科書・指導書のT/F statements、教員の自作statementsによる内容確認)

〇英文分析(句・文単位での意味把握)

〇同時通訳(英→日)…日本語を介した瞬時の理解度確認

〇翻訳・意訳…文意、文脈、文体に応じた日本語

〇Phrase/Chunk区切り
英語のsense group単位の意味理解促進

〇和訳先渡し/後渡し(1パート、または1レッスン前・後に全訳を配布する)

教科書の進度

・教科書(ECI) Lesson 10 Friendship over Timeから始めて、教科書(ECII) Lesson 1以降を進めていく。

・長期休業中に教科書内の未読部分(Readingレッスン等)を課題として生徒に提示する。

Intake

Reading Aloud

〇Phrase Reading(日→英、英→英)…スラッシュを入れる/入れない条件でのsense groupを意識した英文理解

〇Quick Response(日→英)…口頭による瞬間英作文

〇Read & Look up(意味と発音を意識した口頭練習)

〇朗読(読み聞かせ)…文意を理解した上で抑揚や区切りに注意して読み上げる

Shadowing

〇CD等の音声教材の後を追いかけてつぶやく

Retelling

〇Pictute Retelling(本文内容を示唆する写真やイラストを使った口頭による本文復元)

〇Keyword Retelling(本文の重要語や名詞を使った口頭による本文復元)

Output

Chat

〇Pair/Group Chat(ペアやグループによる英語を用いたやりとり練習)

〇Timed Chat(時間制限の中で指定されたトピックについて、できるだけ多く英語で話す)

Discussion

〇英語によるグループ協議の方法(形式・司会)の指導

〇教科書題材に関連したQuestionに対する意見交流

授業外活動

①週末課題（課題冊子）

〇前期：Viewpoint Standard、後期：SKYWARD LAND Course を使用し、提出を課す。

〇提出状況を評価に加味するとともに、定期考査の範囲に入れる。

②スタディサプリEnglish

〇生徒が日常的にリスニング・スピーキング練習を行い、英語音声に慣れる。

〇初期指導として授業内で使い方を体験させ、継続的な使用を促す。

〇レッスンの進捗状況を評価に加味する。

□日常英会話で、各自のレベルに合ったコースを選択する（「英語レベルチェック」で決定）

□各自のコース履修→週４レッスンを終える

□週明けに、HR担任が生徒の取組状況を管理画面で確認する→未実施・進度の極端に遅い生徒への声掛けを行う

□途中でレベルを落としても良い

□考査２週間前までに、考査でのリスニング範囲を示す（全員共通問題）

□長期休業中を中心に、リスニングPLUSへ取組ませる

評価

	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
評価の観点	□英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 □ペアワーク・グループワークでクラスメートと協力して英語を使っている。 □間違いを恐れずに英語を使い、間違いから学ぶ姿勢がある。	□聞き手を意識し、理解した内容について音読をして伝えることができる。 □聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに 基づき、情報や考えなどについて、やりとりを行ったり、簡単な英語で書くことができる。	□論説文、物語、エッセイを聞いたり読んだり、対話や討論を聞いて、要点や意見を理解することができる。 □場面や状況、目的に応じて、英語を適切な方法で聞いたり読んだりすることができる。	□単語や文の発音・リズム、英単語・熟語・文法、語順、文の役割、 便利な会話表現、議論の際によく使われる定型表現、4つの技能を活用するためのポイント、 日常的に英語を使う人たちの考え方などについて理解し、 知識がある。
評価の方法	□授業中の活動への参加態度の観察(主体性・協調性) □ワークシート・課題等への記入・提出状況(継続性) □自己評価活動への取組状況(学びに向かう姿勢)	□[Speaking]実技テスト(ディスカッション等) □[Speaking]小テスト(retelling、音読) □[Writing]教科書トピックに関するpassage writing提出、定期テストでの英作文問題 □[表現活動全体]授業中の話す・書く活動	□[Reading/Listening]初見・初耳の読解問題 □[Reading/Listening]教科書本文を改作した読解問題	□小テスト、定期考査内での文法・語法・語彙問題 □[Listening/Speaking]英語の音声に関する知識の有無の確認 □[Reading/Writing]英語を読解・聴解するために必要な知識の有無の確認